

**重点課題**

【課題1】 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けることができる。(設問2三) 読むこと (平均正答率38.3%)  
資料の中の文章と「面ファスナーの仕組み」とを結びつけて必要な情報を見付けることができていない児童が46.7%。

【課題2】 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。(設問2四) 読むこと (平均正答率20.0%)  
設問の内容が書かれている部分を中心に読み、必要な情報を見付けて要約することができていない児童が63.3%。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】・説明的な文章を学習する際は、学習の前に読む目的を明確にしてから取り組む。  
・「書くこと」の指導において、複数の資料や文章から、必要な情報や内容を取り出して書いたり、条件の中でまとめたりするなどの活動を仕組む。  
・文章中に用いられている図表などが、文章の部分と結び付くのかを明らかにしながら読む活動を仕組む。

【課題2】・説明的な文章を読む際は、書き手の論の進め方や、説得力を高めるためにどのような理由や事例を用いているかなどを考える活動を設定する。  
・読解力を高めるために、読書時間の確保や音読の徹底を低学年から継続して積み重ねていく。

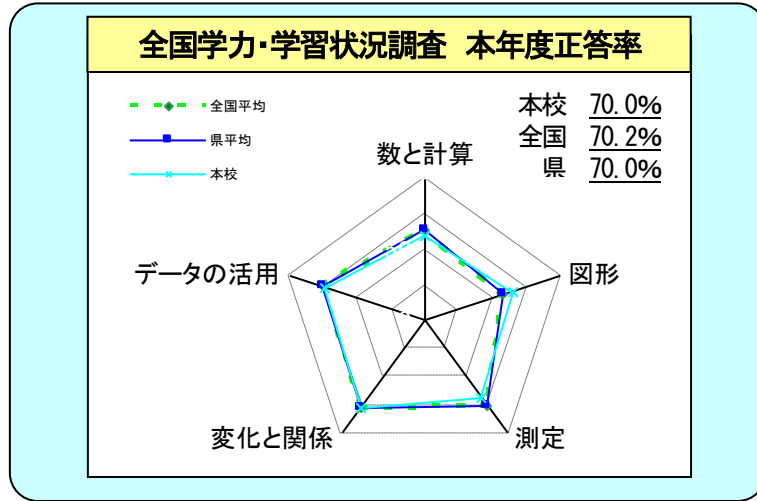
※小中一貫した取組については、目的に応じて複数の資料を読み取ったり、自分の考えを根拠を明確にして書いたりする指導に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4・5年生 単元末テスト		5年生 全国類似問題	5年生 R3「全国学力」
目標値				80%		80%	40%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4・5年生 単元末テスト		5年生 全国類似問題	5年生 R3「全国学力」
目標値				80%		80%	30%
実施後数値							

**来年度に向けて**



**重点課題**

【課題1】 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することができる。  
 (設問3(4)) データの活用 (平均正答率41.7%)  
 2つの割合の違いが一番大きい項目は正しく捉えているが、その2つの割合を正しく読み取れていない児童が18.3%。

【課題2】 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書くことができる。(設問4(3)) 数と計算 (平均正答率50.0%)  
 基準量を捉えているが、0.1に当たる長さが3mになることと12mは3mの四つ分になることを正しく捉えていない児童が16.7%。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】 ・複数のデータを比較するために、それぞれの帯グラフが表している内容や割合を読み取る場を設定する。  
 ・データの特徴や傾向を読み取るために、目的に応じて、帯グラフのどの部分に着目し、どのようなことが分かるのかについて説明する場を設定する。

【課題2】 ・(一つ分の大きさ) × (幾つ分) = (幾つ分かに当たる大きさ) や、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかなどの見方について、テープ図や数直線図を基に説明する場を設定する。  
 ・倍を整数で表せない場合は、基準量1に対する大きさを10等分し、0.1の幾つ分かを捉えさせる。

※小中一貫した取組については、自力解決の後に、算数・数学科の用語や図・式を関連付けて解き方を説明する指導に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					5年生 単元テスト	5年生 R3「全国学力」	5年生 学年末テスト
目標値					80%	70%	80%
実施後数値							

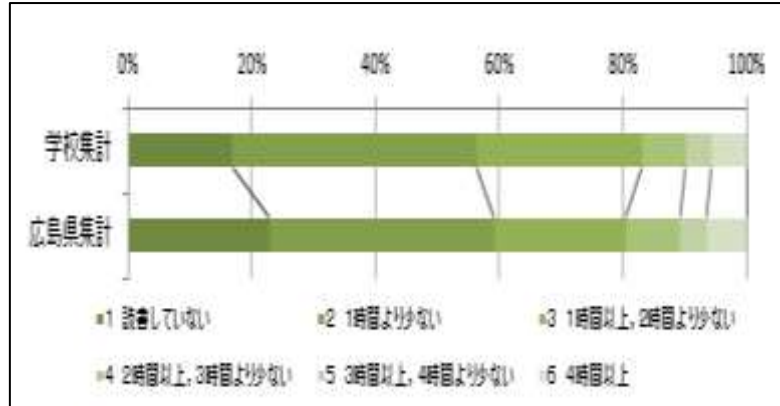
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				4年生 単元テスト	5年生 全国類似問題	5年生 R3「全国学力」	
目標値				80%	70%	55%	
実施後数値							

**来年度に向けて**

質問紙調査（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）（児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

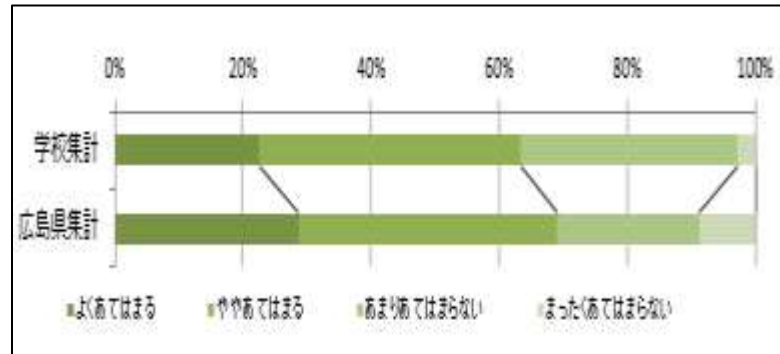
1週間（土曜日・日曜日を含む。）、家では、何時間くらい読書をしていますか。（電子書籍等書籍を含み、教科書や問題集、漫画、雑誌はのぞきます。）



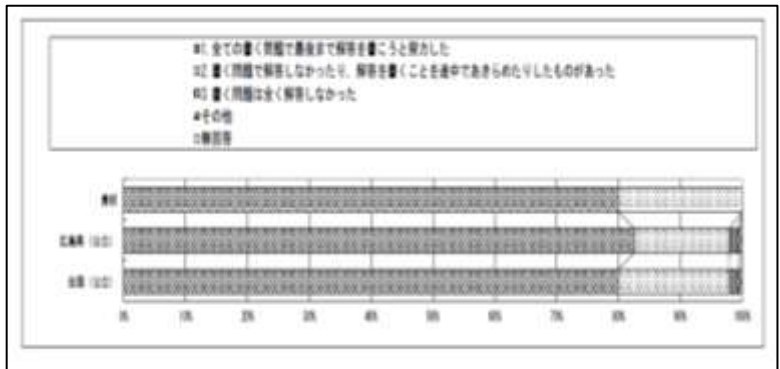
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	1週間（土曜日・日曜日を含む。）、家で読書をする時間に課題がある。1週間の読書時間が1時間より少ない児童が56.3%。	様々なジャンルの本に親しみ、読書習慣の定着を図るために以下の取組を継続する。 ・学習との関連を図った学級文庫の定期的な入れ替え。 ・図書委員会によるお薦めの本の紹介やポスターやポップ作り・お昼の放送での呼びかけ・読み聞かせなど。 ・読書カードの活用（目標冊数の設定・ジャンルやコメントの記入など）	5年	30%	児童アンケート調査	12月	

(2) 教科

国語の勉強は好きです。



今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	国語の勉強が好きと回答した児童が、県平均より低いことに課題がある。63.3%	・学習の前に、各単元で付きたい力や単元のゴールを確認する。 ・児童の気付きを基にした学習課題の設定や既習事項とのずれの明確化などから、「分かった」「できた」授業を積み重ね、学習前後の変容を児童が実感できるようにする。 ・語彙力や読解力を高めるために、読書時間の確保や、言葉の意味調べ、短文作り、音読などを継続して積み重ねていく。	5年	75%	児童アンケート調査	12月	
全国・学習意識等	算数の問題で、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く際、書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりした児童の割合が、県平均・全国平均より高いことに課題がある。20.0%	・数量関係を正しく捉えさせるために、問題場面に合う図を選ばせたり、途中までかいた図を提示してかき加えさせたりするなど、図に表す時間を設定する。 ・答えの見当付けや、解決方法の見通しを既習事項を基に考えさせる。 ・問題の解き方を書く際の、キーワードや型を提示し、何をどのようにまとめればよいのか見通しをもたせる。	6年	10%	児童アンケート調査	12月	